



財団法人柳田國男・松岡家
顕彰会記念館
〒679-2204
神崎郡福崎町西田原 1038
の12
電話：0790-22-1000

夏休み子ども学習会 ことわざ作り挑戦

7月31日(土)に行い
ました小田富英先生の
講演会、ことわざの魔術師
柳田國男 ことわざを
学び、ことわざを創ろう
」において、小学生高
学年の子ども達30名が
聴講し、先生の指導の
元、現在のことわざ作り
に挑戦しました。



先生
からは、
ことわざは古
くから
「口移
しで語
り継がれてきた言葉の教
科書」です。

歴史的な時代背景や文
化を伝える絶好の文章
で、そこには、人の生活
の知恵や、生きていく上
で大切な教えが隠れて
います。と紹介がありま
した。
子ども
達は昔のこ
とわざを参考に思い思
いの新ことわざを作り
出しました。
新ことわざ作品
「水がなければしょくぶ
つはかれる」
「人の命は一つだけ」



「時代がかわれば人もか わる」



「形あるものなきもの
いつかはこわれる」等
子どもたちも日常生活
で人間観察力が鍛えら
れているのでしょうか。
現在にふさわしいこと
わざができました。

映画 「若者のすべて」 「見る松岡家」

皆さんはルキノ・ビ
イスコンティ監督の名
作「若者のすべて」を
ご覧になられましたか。

イタリア南部で貧窮
にあえいでいたパロン
ティ一家は、北部のミラ
ノで出稼ぎしている長
兄ビンチエを母と四人
の兄弟が頼って行きま
す。50年前(1960年
の作品)だけあって、三
男ロッコ役のアラン・ド
ロンも若いのです。



映画では次男シモー
ネと三男ロッコが恋敵
となり、家族が崩壊しか
かる、という話を中心
となります。

さて、一方松岡家の場
合は明治20年2月に長
男鼎が28才で茨城県布
川町に済衆医院を開業
し、医者として生活しは
じめます。7月にひさと
結婚し、9月に國男を引
き取ります。翌年12月
に鼎に長女が生まれま
す。

その翌年9月に鼎は
両親と静雄・輝夫を呼び
寄せます。
明治23年に鼎に次女
が生まれます。一方次男
の井上通泰は東京御徒
町の自宅で同年眼科医
院を開業します。國男は
上京し、通泰宅に身を寄
せます。翌年には母、静
雄、輝夫も上京し通泰宅
に同居します。



松岡 鼎(長男)

「若者のすべて」では、
長男は影が薄く、年の離
れた弟たちを放任気味
ですが、松岡家では鼎や
通泰は懇ろに家族の面
倒をみていたことがう
かがえます。『故郷七十
年』でも鼎は評価・感謝
されています。

(財)柳田國男・松岡
家顕彰会が解散し、
町営になります。

(財)柳田國男・松岡家顕
彰会は今年5月の理事会
において来年3月末日を
もって解散することと決
定いたしました。
長期に渡り皆様にご支
援、ご指導をいただきあり
がとうございました。
顕彰会の財産は福崎町
に寄贈し、引き続き記念館
の運営をお願いすること
としていきます。
より以上に地域の皆様
に親しまれ愛される記念
館が町営として実現でき
ることを福崎町に依頼し
ております。
皆様の意見は直接、福崎
町教育委員会 社会教育
課までどしどしお寄せく
ださい。 22-0560
(内線256)